



病院だより ◆115

美東病院栄養科の紹介

「毎日の美味しい!」と健康をサポートします

栄養科は、入院患者さんを栄養面から支援しています。
業務は、大きく2つにわけて「栄養管理」と「給食管理」があります。

栄養管理

全ての入院患者さんを対象として、病気の状況や治療方針・飲み込みの状態などをきめ細かく経過観察をしていき、患者さん個々に寄り添った栄養管理を行っています。管理栄養士が病室に出向き、「しっかり食べられているかな」「食べづらくないかな」「食事をする(身体)の姿勢に問題がないかな」など、患者さんの顔を見て、直接声を聴いたり要望を受けたりしています。

退院時には、患者さんごとの病状に合わせた食事法や食事量の指導を行っています。退院後も良い栄養状態で過ごしていただきたいので、わかりやすくお話をすることを心がけています。

また、当院には栄養サポートチーム(NST)があります。NSTは、主に低栄養状態の患者さんの、適切な栄養管理や全身の状態改善などを目的に活動をしています。医師や看護師、臨床検査技師、作業療法士、管理栄養士など他職種から構成されており、多角的な視点から、患者さんごとに必要な栄養量や栄養補給を提案しています。

外来の患者さんには、主に個別の栄養指導を実施しています。一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、継続して実践可能な取り組み方を提案しています。



給食管理

委託給食会社と協力して、バランスの良い食事の提供を心がけています。そして、安全・安心な食事の提供のために、日々の衛生管理にも力を入れています。

入院中の食事は、治療の一環であるとともに、患者さんの楽しみのひとつです。定期的に入院患者さんに食事についてのアンケートを実施し、給食の質の向上を目指しています。

今年度は、旬の美味しい果物や新鮮な野菜を献立に取り入れ、給食を充実させていくことを目標にしています。また、祝日等は行事食(敬老の日やひなまつりなど)をお出しできるように努めています。

日々の食事についての悩みや質問がありましたら、栄養科にお気軽にお声かけください。